亀田ニュース

2019
No.917
7月1日号

●〒296-8602 千葉県鴨川市東町929　●TEL04(7092)2211㈹　●発行責任者 亀田隆明　●作成 広報企画室　●毎月1日・15日発行

お願い 入院中の履き物について

入院中は慣れない環境，あるいは活動の減少に伴い，足の筋力が低下して転倒してしまう患者さまが多くいらっしゃいます。

そのため，入院中の履き物は普段から履き慣れた運動靴など，かかと付きのものをご用意くださいますようお願いいたします。なお，スリッパやサンダルは脱げやすく，摩擦が強いとつまずきやすいため，当院では禁止とさせていただいております。

入院中の転倒を防止するため，ご理解とご協力をお願いいたします。

受付方法が変わりました

朝の混雑緩和のため，亀田クリニックに「自動再来受付機」を導入しました。

予約をお持ちの方は，まずは1階・2階に設置された自動再来受付機で受付票を発行の上，各ブロック受付へお進みください。なお，**自動再来受付機は午前8時～12時の間，予約時間の1時間前からしか受付ができませんので，ご注意ください。**

また予約のない方や保険証が変わった方は，お手数ですが1階「総合受付」までお越しください。

ただし，歯科受診の方は自動再来受付機では受付できません。これまでどおり，歯科センターの受付へ直接お越しくださいますようお願いいたします。

bayfm「MEDICAL UPDATES」

春原佑紀さんがラジオパーソナリティーを務めるベイエフエムの午後のワイド番組『it!!(イット)』では，毎週火曜日午後3時から，当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナー(約10分)が好評放送中です。7月は岩澤れい子認知症看護認定看護師が出演いたします。ぜひ，お聴きください。

福祉用具専門相談員講習会 ≪受講者募集中≫

福祉用具にかかる専門的知識や技術をもって相談援助，適合等を行い，福祉用具の導入後も適切な利用についてサポートできる「福祉用具専門相談員」を養成する講習会を下記のとおり開催いたします。

日　　時	8月3日(土)～8月30日(金)の間 8日間(概ね午前9時～午後5時)
会　　場	亀田総合病院　継続学習センター　研修室
内　　容	50時間　※なお，1時間程度の修了試験があります。
受 講 料	27,000円(消費税込み・テキスト代金含む)
定　　員	30名
申込締切	7月10日(水)締切
申込方法	①履歴書(市販の物使用　B4サイズ，写真貼付) ②医療・福祉に関する資格があれば保有資格の修了証明書等の写し ③返信用封筒(92円切手貼付，宛先記入) 以上を下記まで郵送ください。 宛先　〒296-8602　鴨川市東町929 亀田総合病院　継続学習センター
選考方法	書類選考後に受講決定通知書を発送いたします
問い合わせ	04-7099-1165(直通)/月～金 午前9時～午後5時

Kameda Cup 2019 今年もやります！

7月15日(月，海の日)，医療従事者のためのサーフィン大会「Kameda Cup 2019 in Kamogawa」を今年も鴨川市東条海岸(マルキポイント)にて開催いたします。

当日は競技に参加する楽しみのほかに，プロサーファーによるエキシビションや親子ビーサン飛ばし大会，特設ステージではタヒチアンダンス，地元バンドジャスティンスタッフライブ，ヒップホップダンスなどのステージイベントも行います。また会場には地元鴨川の名店が勢ぞろいした模擬店も多数出店予定です。

サーフィンをする方もしない方も，大人もこどもも楽しめる内容となっておりますので，どうぞご来場ください。

■日時：7月15日(月・海の日)
サーフィン大会：午前6時～午後3時30分
会場イベント：午前10時～午後3時
親子ビーサン飛ばし大会：午前11時30分～
(参加費無料)

※参加資格は親(祖父母可)と子(小学6年生以下)のペアであること。当日午前6時より本部テントにて受付。

■場所：千葉県鴨川市東条海岸(マルキポイント)
■駐車場：元ロイヤルホテル跡，臨時駐車場をご利用ください。

第8話 メスを使わない究極の保存療法 多血小板血漿療法

今回は，スポーツ医学科で行っている，最先端の再生医療PRPについてご紹介させて頂きます。

PRPとは日本語では多血小板血漿（けっしょう）療法，英語のPlatelet-Rich-Plasma therapyの略語です。以下PRPと記します。PRPは患者さまご自身の血液から血小板という細胞が高濃度に含んだ液体を生成し，注射により体内の損傷部位に注入するという治療です。

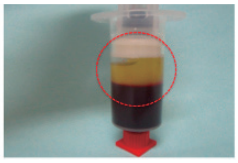
この血小板細胞の役割は，以前は体から外出血した際に血小板凝集し瘡蓋（かさぶた）を作る一時止血が主な機能と言われていましたが，近年は研究が進み，血小板から放出される成長因子が，傷んだ組織の再生を促進させることがわかってきました。さらに，生成されたPRPの成分の中には，痛みの原因となる炎症性サイトカイン（細胞から分泌されるタンパク質）の分泌抑制や，阻害をする成分も含まれており，組織修復と抗炎症と二通りの作用機序から，損傷部位の除痛効果が得られます。PRPは美容形成領域では，顔の皺を取るアンチングエイジング治療として早くから普及していますが，この作用を応用し，非常に治りが悪く治療に難渋していたスポーツ障害にも適応が広がっています。

当院では，厚生労働省から，再生医療認定施設の認可を受け，このPRPを超音波断層像（以下エコー）を用いて，靭帯や，腱，筋肉の損傷に対して効率的に行っています。

専用の注射器で採血した15mlの血液を5分間遠心分離を行いPRPを生成します【写真1】。そして，事前にエコーで損傷部位を確認し，エコーガイド下に的確にPRPを損傷部位に注入しています【写真2】。

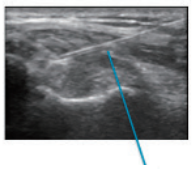
〔写真1〕PRP手順①

15mlを採血


遠心分離機で5分間分離し，4～5mlのPRPを抽出

〔写真2〕PRP手順②

・超音波ガイドしたに損傷組織に抽出したPRPを局所注入


針

診療の実際として，テニス肘（肘外側上顆炎），ゴルフ肘（肘内側上顆炎），ジャンパー膝（膝蓋靭帯炎），足底腱膜炎，そして野球投手の内側側副靭帯損傷に当治療を行い，良好な成績を得ています。特に，野球選手の肘内側側副靭帯は，アメリカメジャーリーグで活躍している，大谷翔平選手，ダルビッシュ有選手などのように断裂をした場合は，いわゆるトミー・ジョン手術（靭帯再建術）が必要とされています。しかしながら，当科では，この肘内側側副靭帯断裂に対してPRPを積極的に行い，エコーガイド化で損傷部位を針で新鮮化の後，PRPを注入することで良好な成績が出ております。勿論，PRP後症状が軽快せず手術に移行した例も数例ありますが，断裂の程度や部位によってはPRPで手術を回避でき，治療効果が得られる可能性もあることを研究報告しています。

しかしながら，急性期の肉離れや，関節軟骨の再生などPRPの効果が証明されていないものも少なからずあり，PRPはその効果には依然賛否が分かれているのも事実です。当科では，スポーツ障害へのPRP症例は国内で症例数も多く，成績も良好なことから引き続き積極的に行っていきますが，これに加え，今年度より新たに厚生労働省から再生医療施設Ⅱ種認定の認可を得られ，これまで出来なかった，膝などの関節内にPRP注入をできる環境が整いました。

関節軟骨への再生効果は根拠が得られていませんが，炎症性サイトカインの分泌を抑え，膝の除痛に関しては効果は報告されています。当科は，未だに明らかとなっていないPRP治療の臨床成果を国内外に発信することも大切な役割と考えています。

医師紹介

池 成基（ち そんぎ） 医師

①担当科目
②診療における得意分野
③趣　味
④ひと言

① 腫瘍内科
② 血液内科，腫瘍内科
③ 世界情勢をニヒルな視点から考察すること。金融システムの限界とビットコインの可能性について考えること。医療ドラマを見ながらシチュエーションの矛盾についてボソリと指摘すること
④ がんの治療においては，絶対的な正解というものはありません。患者さまが何を求め，どのように考えているのか，そういった想いに寄り添いながら，ひとりひとりの“正解”を共に見つけていきたいと思います